事業所名	ピッコロパッソ	支援プログラム	作成日	2026 年	5 月	1 日

法人（事業所）理念		1．子供主体の成長支援　「すべての子どもたちが、自分らしく輝き、未来に向かって成長できる場を提供します。」 2．家族と共に歩む支援　「家族との連携を大切にし、安心して頼れる存在として寄り添います。」 3．個性を尊重した多様性の実現　「一人ひとり」の個性と尊重し、多様性を受け入れる社会の実現を目指します。」 4．地域社会との共生　「地域と共に、子どもたちが安心して過ごせる社会づくりを推進します。」 5．成長の喜びを共有する場　「挑戦する喜びと成功の達成感を分かち合い、未来への自信を育みます。」
支援方針		ピッコロパッソは、子どもの主体性と個性を尊重し、安心して過ごせる環境の中で、発達段階や特性に応じた支援を行います。 支援にあたっては、感覚統合理論の考え方を取り入れ、運動や感覚あそび、ヨガ、制作活動などを通して、身体感覚や感覚の調整を促し、情緒の安定や集中力の向上を図ります。楽しみながら体験する活動を通して、心と体のバランスのとれた発達を支援します。 また、コミュニケーション活動（対話）を通して、子どもの行動や気持ちを認め、主体性や社会性、自己表現力を育み、小さな成功体験を積み重ねることで自己肯定感を育てます。 さらに、自由選択活動の時間を通して主体的な選択や自己決定の経験を大切にし、子どもたちが自信を持って成長していけるよう支援します。 保護者や関係機関、地域との連携を大切にしながら、子どもと家族を包括的に支える支援を行います。
営業時間		9 時　30 分から　18 時　30 分まで　送迎実施の有無　（あり）　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	安心して過ごせる環境の中で、基本的な生活習慣や生活スキルの形成を支援します。衣服の調節、身の回りの整理整頓、掃除、箸や鉛筆の持ち方、服たたみ、ボタン付けやひも通しなどの活動を通して、日常生活に必要な力を身につけられるよう支援します。 また、放課後等デイサービスでのルールや過ごし方などを学びながら、安心して安全に生活できる環境づくりを行います。避難訓練や感染症予防、熱中症予防などを通して、自分の健康や安全を守る意識を育てます。 季節の行事やクッキング活動を通して、生活経験の広がりや楽しみを感じられる機会を大切にします。
	運動・感覚	感覚統合理論の考え方を取り入れ、運動あそびや感覚あそび、ヨガなどを通して身体感覚の発達や感覚の調整を支援します。ヨガ、ボール遊び、ラダー、ダンス、ミニサーキット、マット運動、バランス、鬼ごっこなどの活動を通して、体幹・姿勢・バランス感覚を育てるとともに、身体を動かす楽しさを感じられる経験を大切にします。 また、お手玉や輪投げ、色ジャンプ、的当てなどの遊びを通して、手先の操作性や身体の協調運動を育てます。 これらの活動を通して、情緒の安定や集中力の向上、自己調整力の育成を図ります。
	認知・行動	遊びや制作活動、自然体験などを通して、考える力や理解力、問題解決力を育てます。クイズやゲーム、言葉遊びを通して、記憶力や発想力、ルール理解を促します。 また、制作活動や実験、自然観察などの体験活動を通して、興味関心を広げながら学びにつなげていきます。 活動の手順を理解し、見通しを持って行動する経験を積み重ねることで、自分で考えて行動する力や自己コントロール力を育てます。
	言語 コミュニケーション	対話や遊びを通して、「伝える」「聞く」「やりとりする」経験を大切にし、言葉による表現力やコミュニケーション力を育てます。輪になって行う対話の時間では、季節や自然のこと、日々の出来事などをテーマに、自分の気持ちや考えを安心して話せる環境を大切にします。大人はまず子どもの話をよく聴き、子どもの思いや表現を尊重する関わりを行います。 また、集団活動の中で相手の話を聞く経験や、自分の思いを伝える経験を積み重ね、人と関わる楽しさや安心感を育てます。 さらに、絵本の読み聞かせや言葉遊び、伝言ゲームなどの活動を通して、言葉への興味や表現の楽しさを育てます。
	人間関係 社会性	集団遊びや活動を通して、人と関わる楽しさや安心感を感じられる経験を大切にします。順番を守る、相手の気持ちを考える、協力して活動するなどの経験を重ねながら、社会性や対人関係の力を育てます。 「違ってよい」「違うのがよい」という考え方を大切にし、一人ひとりの個性を尊重しながら互いを認め合える関係づくりを支援します。 将棋、オセロ、カードゲーム、集団遊びなどを通して、ルール理解や相手とのやりとりを学びながら、対人関係の経験を広げていきます。
	自由選択活動（主体性・自己決定）	自由選択活動の時間では、子ども自身が「何をしたいか」「どう過ごしたいか」を選ぶことを大切にしています。外遊び、集団遊び、自然活動、読書、ボードゲーム、制作活動など様々な活動の中から主体的に選び、取り組む経験を通して主体性や自己決定力を育てます。 また、友だちとの関わりや活動の工夫を通して、社会性や認知面、コミュニケーション面など５領域の発達を総合的に支援します。

家族支援	保護者との連携を大切にし、子どもの成長や日々の様子を共有しながら、家庭と事業所が共に子どもを支える関係づくりを大切にしています。記録や送迎時の対話などを通して日々の様子を丁寧に伝えるとともに、必要に応じて個別相談の機会を設け、子育てに関する悩みや不安に寄り添った支援を行います。 また、家庭での関わり方や生活面での工夫などについても情報共有を行い、子どもが安心して成長できる環境づくりを保護者と共に考えていきます。	移行支援	学校や関係機関と連携しながら、子どもが地域の中で安心して生活し成長していけるよう支援します。学校生活の様子や課題について情報共有を行い、子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援につなげていきます。 また、将来の社会参加や自立につながる力を育てるため、日常生活の経験や集団活動を通して、社会性や生活力を少しずつ身につけられるよう支援します。
地域支援・地域連携	学校、相談支援専門員、関係機関などと連携しながら、子どもと家庭を地域全体で支える体制づくりを大切にしています。必要に応じて情報共有やケース会議などに参加し、子ども一人ひとりにとってより良い支援につながるよう協力していきます。 また、地域の自然や季節の行事、体験活動などを取り入れながら、地域社会との関わりを感じられる活動を大切にしています。	職員の質の向上	子ども一人ひとりに適切な支援を行うため、職員の専門性の向上に努めています。定期的な研修への参加や事業所内での研修・事例検討を行い、支援技術や知識の向上を図ります。 また、日々の支援について職員同士で共有や振り返りを行い、より良い支援につながるよう継続的な学びと改善に取り組みます。
主な行事等	祝日や長期休暇などには、子どもたちが楽しみながらさまざまな経験ができるようイベント活動を行います。制作活動、クッキング、おやつ作り、運動遊び、実験活動、自然体験など、子どもの興味や発達段階に合わせた内容を取り入れます。 また、季節の行事や自然に触れる活動などを通して、季節の変化や生活の楽しさを感じられる機会を大切にしています。 子ども一人ひとりの「やってみたい」「楽しい」という気持ちを大切にし、無理なく参加できる活動を心がけています。		